

令和元年度 保幼小連携地区ブロック活動報告書

- 1 地区ブロック名 永明 地区ブロック
 今年度のテーマ ポイントとなる姿（ 健康な心と体 ）
- 2 地区ブロックの組織（ブロック内学校・園・所名）
 ・いずみ幼稚園・筑井小学校・永明小学校・永明保育園・共愛学園小学校
 ・駒形小学校・駒形こども園・こまがた幼稚園・**共愛学園こども園**
- 3 連携推進活動（実施した交流活動等）

日 時	場 所	内 容
6月 5日(水)	駒形こども園	・保育参観
6月 6日(木)	駒形こども園	・保育参観
6月 7日(金)	駒形こども園	・保育参観
	いずみ幼稚園	・保育参観
	筑井小学校	・学校公開日
6月 13日(木)	永明小学校	・1日学校公開日
6月 14日(金)		・1日学校公開日
6月 26日(水)	駒形小学校	・学習参観 5校時
6月 28日(金)	共愛小学校	・授業参観 5校時
9月 14日(土)	駒形こども園	・運動会
9月 21日(土)	駒形小学校	・運動会
	筑井小学校	・運動会
	永明小学校	・運動会
9月 28日(土)	永明保育園	・運動会
10月 5日(土)	こまがた幼稚園	・運動会
○10月 23日(水)	共愛学園こども園	・ 公開保育(地区ブロック研修)
11月 6日(水)	共愛学園こども園	・収穫感謝
11月 15日(金)	いずみ幼稚園	・保育参観
	筑井小学校	・持久走大会
11月 26日(火)	駒形小学校	・学校公開日(午前)
11月 30日(土)	こまがた幼稚園	・発表会 1
12月 1日(日)	こまがた幼稚園	・発表会 2
2月 1日(土)	こまがた幼稚園	・作品展
2月 3日(月)	共愛学園こども園	・4歳児保育参観
2月 4日(火)	共愛学園こども園	・3歳児保育参観
2月 5日(水)	共愛学園こども園	・2歳児保育参観
2月 6日(木)	共愛学園こども園	・5歳児保育参観
2月 13日(木)	駒形小学校	・学習参観 5校時
2月 14日(金)	いずみ幼稚園	・保育参観
	筑井小学校	・学習参観
2月 20日(木)	共愛小学校	・授業参観 5校時
	永明小学校	・学校公開日(午後)
	駒形こども園	・自由参観日
2月 21日(金)	永明小学校	・学校公開日(午後)
	駒形こども園	・自由参観日
	こまがた幼稚園	・年少保育参観
2月 26日(水)	こまがた幼稚園	・年長保育参観
3月 5日(木)	こまがた幼稚園	・年中保育参観

4 令和2年度の代表校園所【 共愛学園小学校 】

5 これからの保育・教育に生かしたいこと

- いろいろな遊びや活動の中で、子どもたちが主体的に動いていると感じました。
参観後の保育説明を聞き、それは、先生方が日々の保育の中で一人一人を大切に、一人一人の興味を大切に、子どもの思いの中から子どもたちの活動が生まれているからだということが分かりました。また、子どもの興味へつなげていく先生たちの働きかけ(環境作り、言葉かけ等)が素晴らしいと思いました。学校でも児童が主体的に学習へ取り組むための環境作りの大切さを改めて感じました。素晴らしい実践を参観させていただき、ありがとうございました。
- 公開保育に参加させていただき、保育の場面場面で感じるどころがありました。
今回のテーマ「健康な心と体」に限らず、保育の中では、様々な姿につながっていること、また、たくさんの学びを得ていることがわかりました。
5歳児のさつまいもの測量は、さつまいもにただ触れるだけでなく、測量することによって、数量への関心を間近で見られ、子どもたち一人一人の表情も輝いていたように思います。2歳児と5歳児の異年齢交流では、同学年だけでなく異年齢児との関わりから、お互いスムーズなコミュニケーションが取れていたように見えました。刺激し合える保育計画もとても良かったです。職員の方全員が一人一人の子どもに寄り添い大切に保育されていて、改めて関わり方の大切さを実感しました。地域のつながりの場で意見交換できたこと、とても貴重な時間でした。
- 小学校1年生に対しても、様々な活用したい点が見つかり、大変学ぶことの多い公開保育でした。
例えば・●「次は(時計の針が〇〇で)、〇〇するよ。」との声かけ
→見通しや時間感覚を子どもにもたせる。
●子どもの興味・関心を持たせるように寄り添う
→さつまいもの計量の時間の前だおしやコスモスの製作など子どもの声や活動によって変更させる柔軟さ
→生き物を多く置いている
●異年齢交流を日々活動で行っている
→年齢が上の子の責任感や下の子への優しさが養える。
→上の子が下の子のモデルになる。
こども園ほど柔軟には活動できないものの、少しでも今回感じた気持ちをもっていることが大切だと切に感じました。
- 5歳児の段階からいろいろな異年齢交流を行っているのを見て、もう少し駒形地区の幼稚園・こども園の園児と1年生との交流ができるような内容を考えていきたいと感じた。
年齢の発達段階に合わせて、掲示するポスターを写真・イラスト付きであったものから文字中心のものに変えていたり、言葉で説明しなくても分かるように動線に合わせて必要なポスターを貼ったりと、必要な手立てが多くあることが印象的だった。
1年生でもいろいろとやり方が変わるので、接続がうまくいくように、園のものを参考に見直していきたいと思った。
交流会で幼稚園やこども園の先生方の話を聞いていて、入学前の児童たちの様子をいろいろ聞くことができよかった。入学前に子どもたちがどんなことを学んでいて、どんなことを身につけているのかが具体的にはつかめないことが多いので、

この研修会でそのような話ができる協議の場があってとても有意義だった。

入学後の児童の様子を気軽に話したり聞いたりするような自由に交流する時間もあるとよいなと感じた。

- 今回のテーマである「健康な心と体」を意識しながら参観し、大前提に思いきり戸外で遊ぶことが大切であるが、その中で異年齢の交流でリトミックや触れ合い遊びなど様々な形式で健やかな身体を育てているのだと感じました。さらに「新しいクツを買った子がいるからリレーごっこをしよう。」「毎日登園に気持ちののらずコスモスを持ってきて気持ちを整えようとしている子がいるのでクラスでコスモスの製作をした。」と子ども一人一人の気持ちを汲み取り保育をしていたので子どもたちも安心した心で毎日を過ごしているのだと思いました。当園では異年齢交流に課題点を感じていたので今回の参観を生かしていきたいと思います。
- ピアノに合わせてリズム遊びをし、トンボになって走り回ったり、かかしになって片足立ちしたり、カメになってブリッジしたりと、子どもたちが楽しみながら身体能力を高める運動をしている様子を参観しました。やらせるのではなく、自分から動きたくなるような支援をしているのがとても良かったです。また、年長さんが小さい子に読み聞かせや手遊びをしたり、ふれあい遊びをしたりと異年齢交流をすることにより、思いやりの心が育っているのだな、と感じました。小学校でも子どもが意欲的に取り組みたくなるような支援を工夫していきたいと思いました。そして、こども園で生まれた思いやりの心を大切に伸ばしていきたいと思いました。
- タテのつながりを大切にしているということで、言われてではなく自発的に上の子が下の子の面倒を見られるのは、良い環境の中、子どもたちの主体性を大切にしていると思いました。上の子にも下の子にもメリットがあるように工夫されていること、その為に職員同士の連携もしっかりとっていること勉強になりました。
- 異年齢児交流を行いたいと思っても、しっかり交流する時間を作ることができず、園庭で遊んでいる時に関わっている子が数名いるくらいで学年での活動が多くなっています。部屋に遊びに行ったり一緒に散歩したりなどイベントを企画して積極的に交流していきたいと思います。また、2学期は運動会、発表会と大きな行事があり、特に年長は日々練習でゆっくり遊べる時間確保するのがなかなか難しくなっています。共愛では行事を見直し、日々の保育を大切にしているという話を聞き、自分の園でも行事保育になってしまっているところを見直し、じっくり遊び、子どもの興味・関心を大切にできる時間をたくさん作っていきたいと思いました。子どもの主体的な活動を育むための環境構成や保育者の関わりを再確認し、保育をしていきたいと思います。

